

24. 形成外科（選択）

1. 一般目標（G I O）

将来の専門性にかかわらず、形成外科に必要な基本的診療能力を身につけ、人格を涵養するのを目的とする。

形成外科は先天異常、熱傷、外傷、腫瘍などによる醜状、拘縮、機能異常、欠損に対しての修復、再建を行うことを目的とし、外科的処置を中心とした治療を行う。よって形成外科的疾患の特殊性を理解し、形成外科的な診察、基本手技の習得を目標とする。

また、一般的な創傷についての理解と取り扱い、局所麻酔法と種々の切開縫合処置など外科一般に必要な基本的知識、手技の習得も目標とします。

2. 行動目標（S B O s）

A 経験すべき診察法・検査・手技

（1） 基本的な診察法

- 1) 熱傷深度の診察
- 2) 顔面外傷および皮膚軟部組織損傷の診察
- 3) 顔面骨骨折の診察
- 4) 基本的な皮膚皮下腫瘍の診察
- 5) 基本的な外表の先天異常の診察

（2） 基本的な臨床検査

- 1) 全身熱傷および炎症性疾患の血液、培養検査等の診断
- 2) 顔面骨骨折の画像診断
- 3) 皮膚皮下腫瘍の画像診断

（3） 手技・処置

- 1) 皮膚切開およびデブリードマン
- 2) 形成外科的皮膚縫合法
- 3) 創傷処理
- 4) 熱傷処置
- 5) 術後創の処理
- 6) 包帯法
- 7) ギプス・シーネなどの各種固定法
- 8) 剥削術、凍結療法等の特殊処置

9) 褥瘡処置

(4) 診療録、診断書等の取り扱い

B 経験すべき病態・疾患

(1) 全身熱傷

(2) 顔面外傷をはじめとした皮膚軟部組織損傷

(3) 顔面骨骨折

(4) 褥瘡

(5) 皮膚皮下腫瘍

(6) 外表の先天異常

3. 方略

週間研修スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	外来	外来		外来	外来
午後	病棟 局所麻酔手術	病棟 術前患者診察 症例検討	全身麻酔手術	病棟 局所麻酔手術	褥瘡回診 局所麻酔手術 第2・4週 褥瘡対策委員会

4. 評価方法

(1) 形成的評価：形成外科常勤医により総合評価が行われる。

(2) 総括的評価：研修医は、各到達度目標に対する自己評価表を提出する。

指導医は自己評価表を参考にして EPOC2 に基づいて評価する。